

■日時 平成30年8月17日(金) ■天候 晴れ

天理高等学校 対 清和学園高等学校 通信制

■球場 明治神宮野球場 第2試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 1時間16分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:竹本裕一 塁審:鈴木優哉 濱野太郎 河村浩志

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5									計	安	失
天理	近畿・奈良	1	0	2	2	5									10	14	0
清和学園・通	埼玉	0	0	0	0	0									0	0	1

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	5						
1	中		窪田正喜	3	2	2	0	捕飛	四球		中2	中2							
2	右		平野雄大	3	2	3	0	二安	三安		中犠	三安							
3	投	三	岡田民生	4	2	3	4	右安	二ゴ		中安	中安							
4	左		森口信宏	2	1	2	0	四球		左安	左安	捕犠							
5	遊		片山幸輔	4	0	1	1	投ゴ		二ゴ	遊失	中2							
6	一		浅見紫歌	2	1	0	0	捕飛		四球	三併	四球							
6	一		内山理弘	0	0	0	0												
7	三		清水勇人	4	0	0	0		遊ゴ	遊飛		二飛	二飛						
7	投		伊藤慎介	0	0	0	0												
8	二		邊田三嗣	2	1	2	2		四球	左2		右3							
9	捕		原田成人	2	1	1	2		投犠	三振		中本							
合計				26	10	14	9	残塁:8		併殺:1									
				備考															

■バッテリー

投手
岡田民生
伊藤慎介

捕手
原田成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
岡田民生	4	15	0	3	3	0
伊藤慎介	1	4	0	1	1	0

清和学園・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5							
1	二	一	礪部翔海	3	0	0	0	三振		三ゴ		三ゴ							
2	中		榎本瑠輔	2	0	0	0	三振		三ゴ									
3	投	二	鈴木翔悟	1	0	0	0	四球			右飛								
4	遊		大日向礼央	2	0	0	0	二ゴ			右飛								
5	一	投	新井翔太	0	0	0	0		四球		四球								
6	三		田端優貴	2	0	0	0		右ゴ		右邪								
7	捕		石川拓哉	1	0	0	0		三ゴ			四球							
8	左		石塚拓海	2	0	0	0		三振			投ゴ							
9	右		輿石拓己	2	0	0	0			二ゴ		三振							
合計				15	0	0	0	残塁:4		併殺:0									
				備考															

■バッテリー

投手
鈴木翔悟
新井翔太

捕手
石川拓哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木翔悟	4 1/3	29	12	1	4	8
新井翔太	0 2/3	5	2	0	1	1

■戦評

神宮球場準々決勝第二試合は、2試合で1失点の天理高等学校と2回戦の接戦を制した清和学園高等学校の対戦となった。天理は初回表2番平野の内野安打と敵失によって得点圏に進むと、3番岡田の適時安打により率先よく1点を先制する。さらに3回表先頭打者森口が左安打で出塁、四球をはさみ二死から8番邊田の左翼線二塁打で2点を加える。攻撃の手をゆるめない天理は4回表先頭打者2番平野の左中間二塁打と、3番岡田の適時安打で1点を追加、続く4番森口の安打と相手失策により、この回2点を奪う。勢いに乗った天理は5回表8番邊田の右中間三塁打、9番原田のランニング本塁打で2点を追加し、7-0と突き放す。ここで流れを断ち切りたい清和は投手先発鈴木から新井に替えたが、3番岡田の適時安打で2点を追加、さらに5番片山の二塁打で試合を決める10点目を奪う。一方、敗れた清和は天理投手岡田・伊藤の継投に無安打に抑えられ、1・2回戦勝利の原動力となった粘り強い攻撃を發揮することができず無念の敗戦となった。